



いもにかい

実施日：令和7年10月23日

対象児：全園児

さといも

芋煮会の由来

芋煮会の由来は、1600年代半ば頃の江戸時代遡ります。

山形市の中山町長崎付近に船着場があり、近くには里芋の名産地がありました。

船頭たちが荷物の引き取りの人が来るのを待つ間、退屈しのぎに近くの老松に鍋をかけて、里芋と積み荷の棒ダラなどを煮て食べたことが芋煮のルーツと言われています。



芋煮会は2～5歳児が携わり豚汁作りをしました。畑で育てた5歳児の里芋も収穫して使いました。2歳児はしめじさき、3歳児は白菜ちぎり、4歳児はこんにゃくちぎり、5歳児は大根とにんじんを包丁で切り、芋煮汁が完成です。行事参観として5歳児保護者にも見守り頂き、大きな鍋でつくる過程を見たり、栄養クイズをしたり、楽しい時間を過ごしました。3歳児以上はおにぎり作りにも挑戦。混ぜ込みご飯や好きな具を選び優しく握りしめて作りました。「いただきます」が響き楽しい芋煮会になりました。 園長 小川

Menu

おにぎり

芋煮汁

さばの塩焼き

ほうれん草とえのきのお浸し

